

2 活動体験

富士山の自然環境保全について参加者が直接体験する、活動体験事業実施の様子を紹介いたします。

1 富士山の草原性植生保全活動体験(草刈)

日 時：10月3日(土)10時から15時まで

参加者：27名

場 所：富士宮市根原(根原県有地)

主 催：静岡県・富士宮市・ふじさんネットワーク

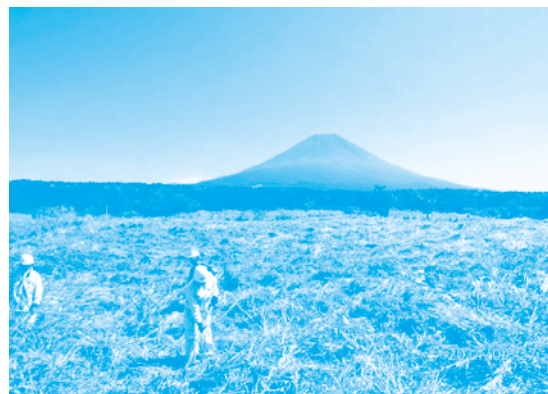
協 力：NPO法人 富士山自然の森づくり
富士宮自然観察の会

内 容：朝霧高原にある根原県有地は、富士山麓を代表する自然的景観と草原特有の貴重な生物相を有しています。このような草原は適切に人の手が加えられることで、その地域固有の生態系を維持しています。

近年、人とのかかわりが減少したことなどにより、草原の形態が失われつつあることから、一般ボランティアを募集し、草原性植生の維持のため草刈活動を体験しました。



秋晴れの下、背の高いススキを中心に刈っていきました。



草刈の後は、背の低い植物にも日が当たるようになりました。

2 富士山ごみ減量大作戦

日 時：10月31日(土)9時30分から12時まで

参加者：41名

場 所：裾野市須山周辺

主 催：静岡県・静岡第一テレビ24時間テレビチャリティー委員会・裾野市

共 催：ふじさんネットワーク

内 容：富士山の山麓周辺道路沿いでは森林内への不法投棄や道路わき・駐車場などに多くのポイ捨てごみが見受けられ、富士山の美観とイメージを損ねています。

そこで、富士山の環境保全対策を推進するとともに、環境保全意識の高揚を図るため、ボランティアによる清掃活動「秋の富士山ごみ減量大作戦」を実施しました。

当日は晴天に恵まれ、参加者の皆さんは富士山の下で、真剣にごみ拾いに取り組んでくださいました。その結果、可燃ごみ130kg、不燃ごみ310kg、計440kgものごみを回収することができました。

また、主催の裾野市の協力により、裾野市立富士山資料館の無料見学も行われました。



紅葉の下、観光シーズンに溜ったごみを回収しました。



ごみを拾って軽トラックに集めていきました。



集まった不燃ごみの数々。



参加者全員で記念撮影を行いました。